
岐阜県立岐阜工業高等学校

学 校 長 永井 政義

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話 058-387-4141

1 会議の名称 岐阜県立岐阜工業高等学校 学校評議員会（第2回）

2 会議の構成 委 員

加藤 なるみ 地域住民代表
河合 一朗 株式会社光製作所 総務部長
木村 理恵 地域住民代表
杉田 悦男 名古屋鉄道株式会社 笠松駅駅長（欠席）
長屋 博明 岐阜工業高等学校育友会会長

（委員名は五十音順）

学 校 側

永井 政義 校長
水谷 透 副校長
飯沼 仁敏 事務部長
羽賀 均 教頭
山内 義之 教頭
中西 竜也 教務主任
宮浦 英夫 生徒指導主事
本田 悟志 進路指導主事
岡田 春雄 工業教育部長

3 会議の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。

4 会議の開催 平成28年11月2日（火） 9:00～11:00 岐阜工業高等学校校長室、他
委員4人と学校側9人が出席

5 会議の概要

<体育館他>

（1）文化祭見学

<校長室>

（2）開会

学校長挨拶

（3）本校教育活動の概要説明（中間報告）

① 学習指導について 教務主任

② 生徒指導について 生徒指導主事

③ 進路指導について 進路指導主事

④ 工業教育部について 岡田工業教育部長

⑤ 定時制について 副校長

（4）協議「工業高校に期待するもの、地域から学ぶこと」

文化祭を見学しての感想

- 意見 1 昔と変わらない岐阜工業高校らしい文化祭で安心した。いたずらに模擬店やバザーなどに流れることなく、学科の学習内容をレベル高く発表していた。
各学科の発表内容にはプライドが感じられた。また、生徒同士で他の学科の学習内容を知るよい機会となっていた。
20秒PRが工夫されていて良かった。パンフレットだけでは分からない発表内容がうまくPRされていた。工業高校の文化祭が楽しいものであることが分かった。

概要説明（中間報告）について

- 意見 2 校内を歩いていて、挨拶する生徒が減ったような気がする。進路実現するうえで大切とされる面接時の覇気の良さは、挨拶から始まるものである。挨拶を最優先にしている高校もある。岐阜工業高校も是非そうあってほしい。
- 意見 3 SPHの取組に驚いた。指導は大変だろうが内容は素晴らしいものであると感じる。航空宇宙産業については、岐阜県は全国的にみても重点地区であり、岐阜工業高校はその人材育成のNo. 1を目指してほしい。シアトル研修、JAXAの見学や中日本航空専門学校との高専連携などは魅力的であり、入学に憧れの念を抱かれるような高校になってほしい。また、その魅力を中学生や小学生に語ってほしい。
- 意見 4 大学進学をしても、普通科の生徒に負けることなく学習できる。岐阜工業高校での専門的な学習は大いに役立っている。
中学生には普通科志向が高く、スポーツの得意な中学生は総合学科志向が高い。SPH指定校でもある専門高校の素晴らしさをもっと知ってもらえるようにアピールしてほしい。
地域での評判からは、岐阜工業高校生は挨拶ができ、登校風景も良いという印象をもっている。
- 意見 5 職場にて、岐阜工業高校OBには母校愛を感じる。継続的に後輩が入社してくれると頑張れるようである。
- 意見 6 岐阜工業高校を訪問した時に、いい意味での「くだけ感」を感じる。特別に事前指導しなくても岐阜工業高校生は常識的な雰囲気を感じる。この雰囲気を大切にしてほしい。

質問

- 意見 7 学生服は何故変わったのか。保護者の経済的な負担を考慮して学生服変更の検討を行った。若干のマイナーチェンジが行われ、おしゃれなイメージの学生服となった。
- 意見 8 グラウンドの芝生化は何故行われたのか。ラグビー部の活動場所の改善と強風が吹くと砂塵があがることに対する近隣住民への対策でもある。ラグビー部員が四年前から芝を植えて、初めてこのグラウンドで運動会を開催した。

6 会議のまとめ

今回（第2回評議員会）は、文化祭の様子を見学後、本校の教育活動の概要を説明し、意見、提言をいただいた。また、第1回評議員会でいただいた提言への取組状況を説明した。是非、その内容を精査して今後の学校運営に役立てていきたい。引き続き本校に期待することや地域からの要望を学校に伝えて欲しい。